

平成 26 年度

事業報告書

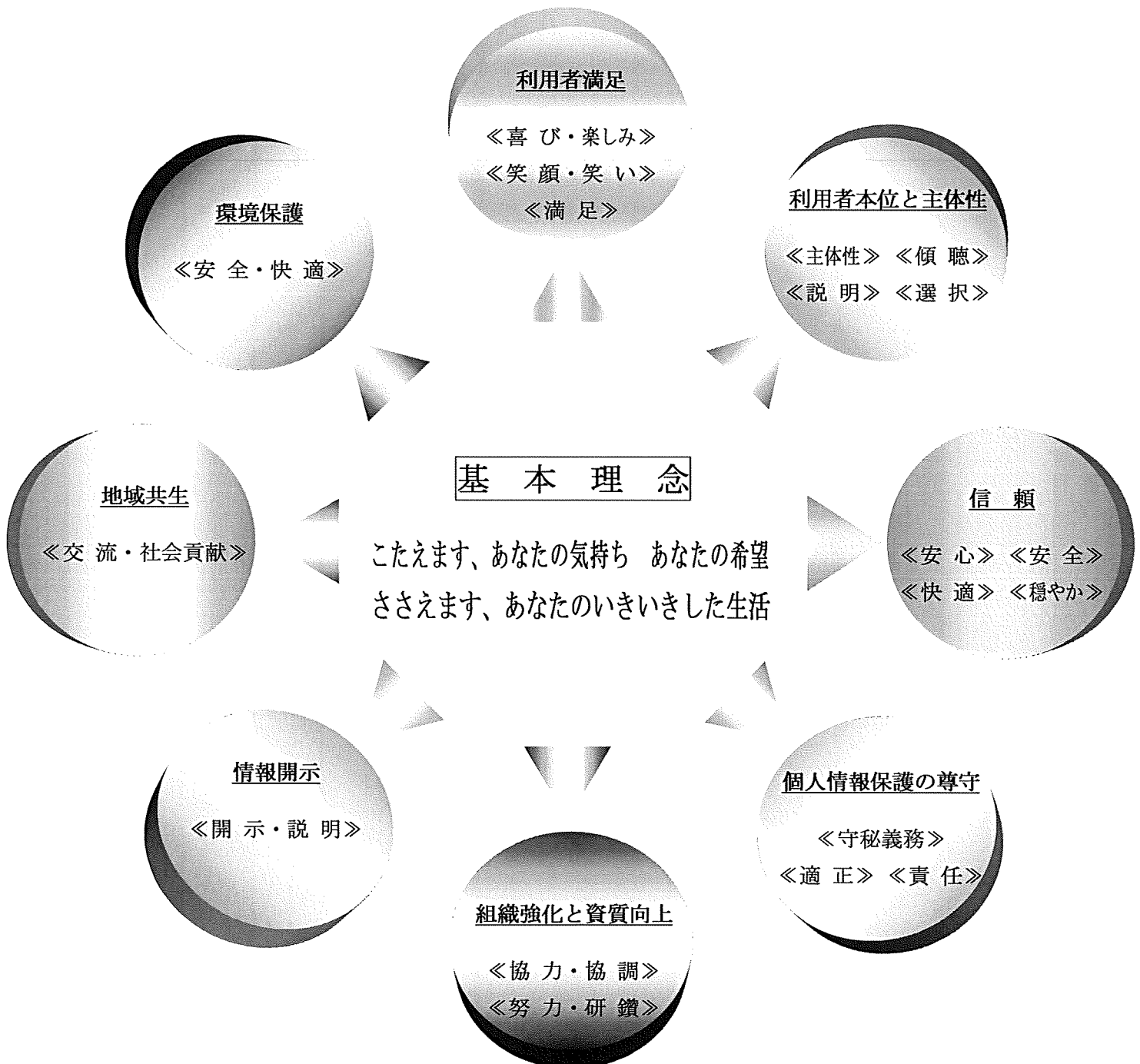
社会福祉法人 札幌厚生会

白石福祉園

基本理念及び基本方針

救護施設 白石福祉園

《私達の基本的な考え方》



施設 の 概 要

1	施設 の 名 称	白 石 福 祉 園
2	所 在 地	札幌市白石区川北 2272 番地 8
3	施設 の 種 類	生活保護法による救護施設
4	設 置 主 体	社会福祉法人札幌厚生会
5	経 営 主 体	同 上
6	設 立 年 月 日	昭和 29 年 12 月 14 日
7	創 立 者	助 川 貞 利
8	理 事 長	上瀬戸 正 則
9	施 設 長	家 久 雅 博
10	入 所 定 員	100 名
11	職 員 構 成	施設長：1 事務員：2 主任生活指導員：1 介護職員：17 看護師：2 栄養士：1 調理員：4 介助員：1 医師(2)嘱託 計 29(2)名
12	移 転 改 築	平成 6 年 3 月 10 日（白石区川北に移築）
13	敷 地 面 積	5, 0 4 3 m ² （札幌市貸与）
14	建 物 面 積	2, 8 8 1. 8 3 m ² （札幌厚生会）
15	施設 の 沿革	

昭和 29 年 8 月札幌市において、天皇、皇后両陛下を迎えて北海道国民体育大会が開催されたが、この機会に札幌駅及び市内に散在する浮浪者ならびに一時保護者を桑園駅前にある元市営市場事務所を使用、収容したのが始まりである。その後、閉鎖するに当たり、帰住先のない人や他施設への収容替えが不可能な身体的、精神的に障がいがあり、独立して日常生活ができない人が 30 名程おり、この人々のため施設の設置を札幌市と協議し、現在の白石区平和通 5 丁目に市所有地 7,260 m²の無償貸与を受け、共同募金配分、寄付金により 280.5 m²の園舎を建築し事業を開始した。

利用者の激増により、昭和 30 年、32 年、38 年度道費補助により増築、定員 150 名となったが、平成 3 年度法人の利用者調整により定員 100 名となる。

平成 5 年 6 月には、市有地 5,045 m²の無償貸与を受け、永年の計画であった老朽整備による建替が行われ、平成 6 年 3 月 10 日完成（3/21 移転）し現在に至る。

施設機能の強化面においては、「救護施設が取り組む生活困窮者支援の行動指針」に基づき、平成 27 年度までの各種事業の取り組むべき計画の中から、当初の予定どおり 9 月から利用者 3 名による「居宅生活訓練事業」をスタートさせることとなった。

総 括

白石福祉園

はじめに

この一年も、最先端の高度技術をもってしても事前の予測し難い自然大災害の発生が見られました。火山災害では御嶽山の噴火（前日その兆候すら見られず）をはじめ、台風水害に集中豪雨、更には爆弾低気圧による暴風雪による交通障害など等と、近年での規模、記録をはるかに超える被害を各地にもたらし、特に台風水害や集中豪雨では、社会福祉施設などへの被害も発生しました。

災害弱者ともいえる利用者の生活施設にあつては、常日頃から多種多様の防災訓練などの積み重ねと、職員共々防災意識を高めることも重要事業であります。幸いにも地元にあつてはそれらの危惧する事象が起きることなく、安心・安全な日常生活を過ごすことが出来た一年でありました。

□各種事業の実績と成果の詳細は本書に掲載することとして、特記すべき事項は次のとおりです。

1. 救護施設を取り巻く環境では、生活保護受給世帯や受給者（1月統計 217万人を超える）が増えるなか、生活保護基準の見直しがあり、利用定員が下回るここ数年にあつては、益々厳しい施設運営を余儀なくされております。しかし、施設一丸となって取り組む冗費節減や、効率的な資金活用と工夫により、利用者処遇の質低下を来たすことなく各種の事業が遂行出来、最終的には当初予定以上の法人への繰入や将来のための施設整備等積立金を計上することが出来ました。ただ設備の老朽化と地盤沈下への対応には毎年苦慮します。

2. 救護施設機能の拡充として今日求められるのは、①行動指針にある各種事業への取り組みと、②地域における生活困窮者支援対策と社会貢献事業への取り組みであったことから、これらの事業①については居宅生活訓練事業も計画とおり継続することが出来、8月には1名が地域生活への移行が出来ました。②については、法人主導のもとに、地域での障がい者・高齢者世帯への見守り・声かけ運動や福祉除雪サービスなどを関係組織との連携のもとにスタートし、対象世帯からの感謝の言葉も聞き及んでおります。

ただ、これらの事業は最初と言うこともあり、最小規模（対象世帯等）での取り組みであったことから、施設側での対応も特段問題も無く次年度を迎えることとなりましたが、実施方法並びに規模等において今後の展開次第では、事前且つ慎重に検討を進めることが必要と感じました。

3. 利用者の定員維持が困難な状況としては、ホームレスなどの緊急入所者数は例年とおりの推移（22名）で対応することが出来ましたが、新規入所依頼が少ない傾向もいつものこととなり、更には高齢化の傾向による長期入院による措置切れ者が例年以上におられたこと、また、死亡による減員数も運営上での影響を来たす要因でありました。札幌市の担当者と施設職員合同会議でこの点要請するも成果は見出せません。

4. 職員処遇の改善への取り組みに関しては、全施設での共通課題でありましたが、今年度は特に臨時・パート職員（新年度からは契約職員と言う）の諸手当の改定を行いました。中でも救護三施設では、これまでこれらの職員採用に関わる基本給をはじめ各手当は、各施設で独自の取り決めで長年進めてまいりましたが、勤務条件での細部の違いがあるのは別として、出来るだけ統一する方向で検討を進め今年度に関してはその中でも高い処遇の施設の条件に揃えることと致しました。更には7年ぶりに職員への一時金支給が出来ました。

又、同時に、パートタイム労働法の改正等の推移や社会保険労務士の指導のもとに、臨時職員の就業規則の大幅な見直しを行うとともに、正規職員の各種規程との関連からも、全ての規程類の整理を行いました。

5. 安心・安全な施設生活の保障については先に触れた防災はじめ、①施設設備／機器の充実対応、②職員研修強化による資質の向上と職員補充、③食の安全と栄養管理の徹底、④各種委員会活動の積極的活動及び⑤地域関係組織との協力と連携等により、当初の計画に基づき順調に事業を展開したこととなりました。

6. 各種委員会活動の取り組み

(1) ヒヤリ・ハット委員会

昨年度に引き続き、インシデントレポートの提出（報告）を進め、施設内には年間 200 を超える多くのリスクがあるということを職員個々が再認識し、大きな事故へつながる前の段階で対策の検討ができたものと感じております。利用者個人にあった対策・対応を確認・検討し未然に防止できるよう進めることが出来たと思います。

今後も施設内に潜在する細やかなリスクを未然に発見、防止できるように進めていくことを念頭に置き、取り組んで参りたいと思います。

(2) メンタルヘルスケア委員会

今年度は、職員のメンタル面での環境整備を施設運営上においても、個人の問題だけに片付けることなく、組織的な取組が必要であることから委員 2 名がメンタルヘルスケアに関する研修に参加してきました。研修により日常生活の環境の変化と人間関係の複雑化によりストレスを抱え、悩みを持つ人たちが社会では急増していることに改めて気付かされました。今年度も外部団体で開催されている交流事業への案内を積極的に回覧し、気分転換の出来る場の周知を積極的に行いました。この回覧により多くの職員の参加が目立ってきていると感じます。今年度は、職員同士の交流の場を時間外に設けチームワークの確立を図っていききたいと考えております。

(3) 評価基準委員会

昨年度と同様に平成 18 年度に策定した施設の基本理念・基本方針の主旨等を再認識するにとどまりました。研修等で職員個々が社会問題ともなっている利用者の虐待についての講義を受け、他地域での虐待防止チェックリストの活用状況や第三者評価を受けていることを目の当たりにしたと思います。第三者評価を受けることにより様々な刺激を受けるとともに改善しなくてはならないことにも気付き、施設職員としての意識向上が図れるものと考えております。現在、他地域の救護施設や当法人の各施設で受けている第三者評価を今年度は受けていかななくてはならないと考えております。

(4) 保健衛生委員会

例年ではありますが、委員会としてノロウイルス・インフルエンザ等の感染症の対策を中心に施設内の消毒を進めてきた結果、今年度はそのような感染症が発生することなく、利用者の安心した生活を守ることが出来たと感じております。委員長が看護師ということもあり、医務室が中心として、施設利用者の中でも高齢者に限ってはありますが、肺炎球菌ワクチンの接種も進めて参りました。今年度においても同様に進めて参りたいと考えております。

(5) 施設内研修委員会

AED 設置に伴い、緊急サポーターとしての研修を筆頭に、職員の救命意識向上・AED の操作の理解を深めて参りました。それらを踏まえ、地域住民の緊急事態に協力・貢献出来るような体制を継続してとっていくべく、来年度に向けても普通救命講習及びスキルアップを考えております。また、介護技術研修会として外部から講師を招いて、今後のサービス提供に大きな学びとなりました。今後も継続し、アンケートを実施しながら、研修計画をしていききたいと思います。

(6) 身体拘束廃止委員会

福祉施設において利用者の身体拘束が社会問題化している中で、当施設においても平成 25 年 10 月 1 日付で委員会を発足し、マニュアルの作成を行い、身体拘束についての考え方について理解を深めてきました。また、やむを得ない場合の対応として、親族からの同意書の取得や記録作成等の進め方についても確認を行い、親族と対応して参りました。今後も委員会での確認・検討を進め、職員の身体拘束についての意識向上を図り、利用者に安心した生活を送って頂くよう心掛けていききたいと考えております。

4. 年度の動き

要 項	年 月 日	記	事	
1. 監 査 等	26. 5. 15	札幌厚生会法人監事監査	家久園長他3名	
	26. 6. 30	衛生監視	白石区保健所2名	
	26. 7. 15	特定給食施設監査	札幌市保健所1名	
	26. 8. 1	札幌厚生会法人監事監査	家久園長他3名	
	26. 10. 27	札幌厚生会法人監事監査	家久園長他2名	
	27. 2. 5	札幌厚生会法人監事監査	家久園長他2名	
2. 札幌厚生会 理事会・評議員会等 施設長会議	26. 4. 25	札幌厚生会施設長会議	家久園長	
	26. 5. 23	札幌厚生会施設長会議	家久園長	
	26. 5. 28	札幌厚生会理事会・評議員会	家久園長	
	26. 6. 24	札幌厚生会施設長会議	家久園長	
	26. 7. 22	札幌厚生会施設長会議	家久園長他1名	
	26. 9. 25	札幌厚生会施設長会議	家久園長	
	26. 9. 26	札幌厚生会理事会・評議員会	家久園長	
	26. 10. 29	札幌厚生会施設長会議	家久園長	
	26. 11. 25	札幌厚生会施設長会議	家久園長	
	26. 12. 12	札幌厚生会施設長会議	家久園長	
	26. 12. 12	札幌厚生会理事会・評議員会	家久園長	
	26. 12. 26	札幌厚生会施設長会議	家久園長	
	27. 1. 22	札幌厚生会施設長会議	家久園長	
	27. 2. 27	札幌厚生会施設長会議	家久園長	
	27. 3. 17	札幌厚生会施設長会議	家久園長	
27. 3. 27	札幌厚生会理事会・評議員会	家久園長		
3. 会 議 等 (1) 官 公 署 (2) 社 協 他 関係諸団体	26. 4. 16	札幌市保健福祉局保護指導課との施設長・事務長会議	家久園長他1名	
	26. 4. 22~23	全国救護施設協議会理事会・総会・施設長会議（東京都）	家久園長	
	26. 5. 27	札幌市社会福祉協議会 評議員会	家久園長	
	26. 6. 4	北海道救護施設協議会役員会	家久園長	
	26. 7. 9	救護施設・相談担当合同会議（ホームレス対応打合せ等）	家久園長他3名	
	26. 8. 26	北郷瑞穂地区福祉推進委員会設立総会（厚生会事前説明会）	家久園長他3名	
	26. 9. 1	北郷瑞穂地区福祉推進委員会設立総会	鈴木俊・松浦・山崎彩	
	26. 11. 7	札幌市社会福祉協議会 評議員会	家久園長	
	26. 11. 27	札幌市社会福祉協議会 役員研修	家久園長	
	27. 1. 8	北海道救護施設協議会総会	家久園長	
	27. 1. 16	防火・防災講習会	向後	
	(3) 部 内	26. 4. 18	処遇会議	
		26. 4. 25	個別支援計画検討会	
		26. 5. 1	定例職員会議5月分	
		26. 5. 2	処遇会議	

要 項	年 月 日	記	事
	26. 5. 9	処遇会議	
	26. 5. 23	処遇会議	
	26. 5. 26	定例職員会議6月分	
	26. 5. 30	個別支援計画検討会	
	26. 6. 6	処遇会議	
	26. 6. 13	個別支援計画検討会	
	26. 6. 27	処遇会議	
	26. 6. 30	定例職員会議7月分	
	26. 7. 4	個別支援計画検討会	
	26. 7. 11	処遇会議	
	26. 7. 18	個別支援計画検討会	
	26. 7. 25	処遇会議	
	26. 7. 31	定例職員会議8月分	
	26. 8. 8	個別支援計画検討会	
	26. 8. 15	処遇会議	
	26. 8. 28	定例職員会議9月分	
	26. 8. 29	処遇会議	
	26. 9. 5	処遇会議	
	26. 9. 19	個別支援計画検討会	
	26. 9. 26	処遇会議	
	26. 9. 29	定例職員会議10月分	
	26. 10. 3	処遇会議	
	26. 10. 10	個別支援計画検討会	
	26. 10. 17	処遇会議	
	26. 10. 24	処遇会議	
	26. 10. 29	定例職員会議11月分	
	26. 11. 7	処遇会議	
	26. 11. 14	個別支援計画検討会	
	26. 11. 21	処遇会議	
	26. 11. 28	個別支援計画検討会	
	26. 12. 4	定例職員会議12月分	
	26. 12. 5	処遇会議	
	26. 12. 12	個別支援計画検討会	
	26. 12. 19	処遇会議	
	26. 12. 26	個別支援計画検討会	
	26. 12. 30	定例職員会議1月分	
	27. 1. 9	処遇会議	
	27. 1. 16	個別支援計画検討会	
	27. 1. 23	処遇会議	

要 項	年 月 日	記	事
	27. 1. 29	定例職員会議2月分	
	27. 1. 30	個別支援計画検討会	
	27. 2. 6	処遇会議	
	27. 2. 13	個別支援計画検討会	
	27. 2. 20	処遇会議	
	27. 2. 26	定例職員会議3月分	
	27. 2. 27	個別支援計画検討会	
	27. 3. 6	処遇会議	
	27. 3. 13	個別支援計画検討会	
	27. 3. 20	処遇会議	
	27. 3. 27	個別支援計画検討会	
	27. 3. 30	定例職員会議4月分	
4. 研 修 説明会等 (教育訓練・上記記載以外)	26. 4. 14	北海道民間社会福祉事業職員共済会実行委員会	山崎利
	26. 4. 17	札幌白石区防火管理者協議会総会	向後
	26. 4. 24	札幌白石区危険物安全協議会総会	向後
	26. 5. 19	北海道民間社会福祉事業職員共済会実行委員会	山崎利
	26. 7. 7	救護施設研究セミナー実行委員会	向後・山崎彩
	26. 9. 6	救命導入講習（フォローアップ講習）	4名参加
	26. 9. 17	苦情解決システム研修会	向後
	26. 10. 20	施設内研修（介護技術）	24名参加
	26. 11. 21	年末調整講習会（プロテック）	松浦
	26. 11. 27	年末調整講習会（税務署）	山崎利
	26. 11. 27	社会福祉協議会法人役員研修	家久園長
	27. 2. 20	北海道民間社会福祉事業職員共済会実行委員会	山崎利
	27. 3. 2	特定給食施設等研修会	富士
	27. 3. 3	生活困窮者自立支援促進事業シンポジウム	向後
5. 来 訪 (1) 視察・見学 ボランティア	26. 6. 23～28	道都大学実習生	1名
	26. 6. 26～28	歌志内市親愛の家職員相互実習研修	2名
	26. 6. 28	夏祭りボランティア（白石区社協・白石高等学校）	27名来園
	26. 11. 6	第60回開設記念行事来客者	親族20名来園
	26. 11. 14	北星学園大学見学学習	3名
(2) 実態調査	26. 4. 14	白石区 白川 主事	(対象者 4名)
	26. 5. 23	白石区 白川 主事	(対象者 4名)
	26. 6. 29	旭川市 姫田 主事	(対象者 5名)
	26. 7. 8	名寄市 本郷 主事	(対象者10名)
	26. 7. 9	十勝総合振興局 中川 主事	(対象者 3名)
	26. 8. 5	釧路総合振興局 安田 主任	(対象者 1名)
	26. 8. 27	岩見沢市 大橋 主事	(対象者 1名)
	26. 9. 19	空知総合振興局 清水 主事	(対象者 2名)

要 項	年 月 日	記	事
	26. 10. 10	富良野市 松 葉 主事	(対象者 2名)
	26. 10. 14	北見市 村 上 主事 ・ 加 藤 主事	(対象者 2名)
	26. 10. 23	根室振興局 荒 木 係長 ・ 佐々木 主事	(対象者 1名)
	26. 10. 28	千歳市 海 谷 主事 ・ 石 塚 主事	(対象者 1名)
	26. 10. 28	紋別市 芳 賀 主事 ・ 高 橋 主事	(対象者 1名)
	26. 11. 4	稚内市 田 中 主事 ・ 坂 田 主事	(対象者 1名)
	26. 11. 5	美唄市 松 田 主事	(対象者 2名)
	26. 11. 7	小樽市 樋 口 主事	(対象者 4名)
	26. 11. 11	白石区 小 林 主事	(対象者 7名)
	26. 11. 18	白石区 小 林 主事	(対象者 3名)
	26. 11. 20	帯広市 水 谷 主事	(対象者 1名)
	26. 11. 21	石狩市 酒 井 主査 ・ 新 居 主査	(対象者 1名)
	26. 11. 25	オホーツク総合振興局 中 橋 主事 ・ 伊 藤 主事	(対象者 2名)
	26. 11. 26	日高振興局 大 西 主査	(対象者 2名)
	26. 11. 25	後志総合振興局 佐々木 主事 ・ 宮 野 主事	(対象者 5名)
	26. 11. 28	室 蘭 市 高 橋 主事	(対象者 1名)
	26. 12. 5	江 別 市 川 辺 主事	(対象者 1名)
	26. 12. 11	白石区 小 林 主事	(対象者 9名)
	26. 12. 24	三 笠 市 戸 松 主事	(対象者 5名)
	27. 2. 19	根室振興局 伊 藤 主任	(対象者 1名)
	27. 3. 26	石狩総合振興局 渋 谷 調査員	(対象者 1名)
6. 儀 礼	26. 5. 1	第61回 静心寮開設記念	出勤職員全員訪問
(1) 表 敬	26. 5. 9	第52回 札幌市あけぼの荘開設記念	出勤職員全員訪問
(2) 慰 問	26. 5. 14	第95回 札幌明啓院創立記念	職員4名訪問
	26. 7. 27	北郷瑞穂町内会納涼夏祭り	職員2名・利用者3名
	26. 9. 7	第22回北翔祭(札幌あゆみの園)	出勤介護職員
	26. 9. 7	第16回光友園まつり	出勤介護職員・利用者
	26. 11. 6	草舞弦(そうぶげん)	楽器演奏と歌と踊り
7. そ の 他	26. 6. 5	深夜勤務者検診	18名
(1) 受 章	26. 8. 11	夜間想定検証制度	
(2) そ の 他	26. 8. 20	慰霊祭(物故者法要)	
	26. 9	腰痛検診	10名
	26. 10. 11	札幌救護施設協議会スポレクボウリング大会・懇親会	13名
	26. 10. 29	生活習慣病予防健診	全職員
	26. 11~12	マンモグラフィ検診・子宮癌検診	18名
	26. 12. 12	札幌厚生会むつみ会総会	24名
	27. 1. 7	親睦会新年交礼会	26名

生 活 指 導

基本的な支援として、健康の維持・管理を中心に、疾病の早期発見、治療のための各種検診の充実を図ると共に、日常生活の中での変化を見逃さないよう、各職種間の連携を強めるよう努めてきました。精神面においても、日常の対話を重視し、特に精神的な障がいを持っている方に対しては、十分にコミュニケーションを図るようにし、施設生活への適応のために個別対応を図るようにしました。また、障がいや疾病により生活上の課題がある利用者に関しては、ひとつの医療機関だけではなく、疾病に関してより専門的な医療機関を受診し、処遇の方向性を確認していくようにも配慮しました。

個別ニーズへの対応のひとつとして、今日まで全救協個別支援計画書を活用しながら利用者支援をおこなってきましたが、利用者の高齢化と障がいの重度化から今年度は当施設の利用者に合った書式への見直しを行い、より利用者一人一人の生活の質を高め、利用者自身が目標を持って生活が送れるかを全職員で検討してきました。次年度から新たな支援計画書を活用し、利用者が充実した生活が送れるよう支援して行きたいと思えます。

施設からの自立を目指す利用者には、「居宅訓練事業」を通して、より地域社会に近い形で訓練に取り組むことができ、今年度は1名の利用者が訓練を終え地域へ送り出すことが出来ました。

また、利用者が特に楽しみにしている「買物・外出の日」、「喫茶・売店の日」も例年通り実施しすることで利用者の生活意欲の助長につながっていたと感じました。

日課については、利用者の実態に合わせゆとりのあるものにしなが、作業、クラブ活動、レクリエーションの充実にも努め、リハビリ訓練については、年々参加者が増加しADLが低下しないよう、利用者自ら積極的に参加する姿が見られ、生活の一部として定着していると感じました。

地域との関係において、当施設としては夏祭りを通じて学生ボランティアや町内会ボランティアの協力を頂き、施設からは地域の夏祭りに参加することで地域社会の一部であることを近隣住民の方々に理解してもらえるよう利用者と毎年参加させていただきました。

緊急一時入所者の対応では、当番施設としてコンスタントに実施機関からの依頼があり年間を通して例年通りの受け入れとなりました。近年では若い年齢の方の利用も多くなってきており、より各実施機関との連携を強化し、より適切な対応や援助方法を検討していかなければならないと感じました。

1. 利用者ひとりひとりのニーズに基づいた生活を保障していく

健康で明るく生き甲斐の持てる生活を送ることができるよう、一人一人の身体的、精神的な状況把握に努め、作業参加や各クラブ活動への参加を促した。また、日常生活での自立を促す意味でも、自分で「できる」ということを大切にし、本人の意思の尊重、努力への評価に配慮し、意欲の助長を促すよう努めました。高齢者や障がいの重い利用者に対しても、健康管理に十分配慮しながら、利用者同士、また、職員とのふれあいも生き甲斐のひとつであることから、日常生活の中での関わりを多く持つように努めました。

2. 個別指導

担当職員との関わりを重視しながら、個々の日常生活の把握に努め、本人との話し合いの場面を大切にしながらニーズに応じた援助を進めました。家族との交流については、広報誌「みちしば」の送付のほか、日常中での電話連絡やハガキ・手紙の送付にも配慮し、交流を図った。ふるさと訪問は、自分の故郷にもう一度行ってみたい、親族に会いたい、墓参りに行きたい等の希望も含めて実施しました。親族と交流状況の良い利用者は一緒に行ってもらうようにもしました。職員引率で実施したのは下記の通りであります。

- | | | | |
|---|-----|--------|-----|
| ① | 三笠市 | → 姉宅訪問 | H 氏 |
| ② | 美唄市 | → 墓参り | T 氏 |
| ③ | 三笠市 | → 墓参り | S 氏 |

その他、利用者の希望があっても家族の都合で受け入れが出来なかつたり、逆に家族の理解があっても利用者の体調が悪かつたりということで実現できなかった面もありました。

3. 個別支援計画

これまでの全救協による救護施設個別支援計画書への取り組みを実践しながら、今年度は利用者の実態に合わせた施設独自の支援計画書の作成も行ってきました。

重度障がいのある利用者に関しては、施設サービスの充実を図ることを中心に利用者の希望を取り入れながら実践できるよう努めてきました。

居宅生活を目標にしている利用者に対しては、「居宅訓練事業」に参加することにより、より単身生活に近い状態で希望の実現に向けて取り組み、利用者の可能性を改めて感じることができました。

新たなツールにより、利用者が生き生きとした生活が送れるよう実践に努めていきたいと考えております。

4. 作 業

今年度の作業も、従来の箸作業に加え、新箸作業の石狩鮭の作業と三つ折加工箸作業の3種類を行ってきました。新しい作業の参加人数も、多少は増えてきたようで、今後に期待が持てるようになってきました。今後も作業の重要性を理解してもらい、しっかりとした結果を残していきたいと思っております。

平成 26 年度作業実績

- ・総収入金額 243,375 円 (平成 25 年度 163,685 円)
(内、旧作業分：172,125 円、新作業分：71,250 円)
- ・一人当たりの収入金額 (平均)
 - 旧作業分 3,825 円 (参加者 45 名)
 - 新作業分 2,095 円 (参加者 34 名)

今年度は天候に恵まれましたが、雨が少なく、予定していた量の収穫ができません

でした。収穫物は甘味品や食事で提供していくことができました。さくらんぼ、ぶどうは前年の失敗を生かし、事前の対策を行い、十分な量の収穫ができました。園生も畑作業に意欲的で、収穫時期だけではなく、日々の作業にも多くの園生が積極的に参加していました。来年度は今年度の反省を生かし、しっかりと準備をして畑作業に取り組み、園生の楽しみとなるような取り組みをしていきたいと考えております。

平成 26 年度収穫

アスパラ	0. 5 k g	とうきび	9 k g
枝豆	1 4 k g	じゃがいも	2 1 k g
白ブドウ	3 8. 5 k g	黒ブドウ	1 0 k g

4. リハビリ訓練

今年度も昨年度同様の回数を行うことが出来た。器具の使い方や使用する順序を工夫しながら、限られた時間内で上手く実施することが出来ました。

年間実施回数	6 6 回	平均参加人数	1 4 名
--------	-------	--------	-------

柔道整復師の来園も7年が経過し、専門的な施術が必要な方に週1回ですが行っており、今後も継続していきたいと思っております。

年間実施回数	4 8 回	平均参加人数	9. 3 名
--------	-------	--------	--------

5. 防災体制

火災時に迅速な対応ができるよう自動放送を活用しながら、避難体制を一から見直し、より緊張感を持って計画通りに訓練を実施することが出来ました。

訓練時における二次災害にも充分注意して行い、年々利用者の身体状況の重度化や高齢化という現状から、来年度も今年度の反省を踏まえ更なる防災体制の対応を考えていきたいと考えております。

防災設備に対しては年2回業者による点検を実施し、不備な点が判明した場合には、早急な対応のもと、修理等の適切な対応をしてきました。

訓練実施状況

実施月日	訓練内容	備考
4月7日～19日	教育訓練	各部署ごとに実施（職員）
5月19日	総合訓練	日中想定・消火訓練含む
6月16日	避難訓練	日中想定・スロープ訓練
7月17日	避難訓練	夜間想定
8月11日	避難訓練	検証訓練
9月22日	防災訓練	地震想定（昼食は非常食）

7. クラブ活動

利用者個々の能力や特性に合わせ、情緒の安定を図り、余暇活動に結びつくように配慮し、各クラブを実施してきた。決まった人だけが参加するのではなく、できるだけ多くの利用者が参加できるよう工夫して参加を促し、施設生活の中での楽しみになるよう努めました。練習の成果は、演芸会・クリスマス会・新年会の時に披露する機会を作りました。〔別記3〕

8. 自主的活動

お互い助け合いながら、また、自分たちの生活を主体的に送ることが大切であり、日常生活の中での様々な役割分担の他、全体集会や代表者会議等の進行に積極的にかかれるよう援助しました。また、ミニ集会やこうした各会議の中で、意見を発表し、相手の意見を聞くことでお互いを理解できるように働きかけました。余暇活動にも積極的に関れるよう援助してきました。

9. 教養娯楽

利用者個々の希望が反映されるように個別レクを重視し、状況に応じての回数増を図って実施しました。

また、全体行事でも利用者の希望を生かし選択できるように情報提供し、より多くの人に参加できるようにボランティアの協力を得て実施しました。一泊旅行も体力に合わせ、ゆとりを持って実施できるように3班に分けて実施しました。地域の交流においても、施設夏祭りで町内会や学生ボランティアの協力を得ながら行い、地域の夏祭りにも地域の一員として参加させていただきました。

※各棟グループレク実施状況は〔別記2〕のとおりであります。

10. 給食

エネルギー量をはじめとし、各食事摂取基準は十分に満たされております。健康維持、生活習慣病、合併症の予防を図ることを目標とした献立作成及び食事提供に努め、食事療法を必要とする疾病者食の対応も調理職員の理解と協力をもって充実した食事提供ができました。

また、食中毒・食事故・給食の安全性についても、検収・検査・点検・管理を充分に行い、職員の衛生管理・各研修への出席等安全な食事提供に努めました。

利用者に食の楽しみを感じてもらうため、それぞれの季節の旬な食材・行事食行事カード、また、人それぞれの嗜好を考慮するために個別の献立をはじめとし、選択食・お楽しみ献立・誕生会の食卓での鍋料理の実施を行い、好評に終えることができました。

しかし、昨年度に引き続き、食材等々の震災や地球温暖化の影響による作物の不作やバイオ燃料化による物価の上昇に伴い、給食原材料の高値安定傾向が見られたが、給食費の増には繋がらないよう安い業者の開拓に努めかなりの減額にとどめる事が出来ました。

今後も嗜好調査を実施し、利用者へ個別の栄養指導（管理）を行い、より健康維持に務めていきたいと考えております。

※利用者の食事状況は〔別記4〕のとおりです。

11. 嗜好品

利用者の嗜好を重視しながら、健康面への影響も考え、疾病誘因とならない低カロリー甘味料を使用した適当量の支給を努めた。今後も利用者の加齢、疾病に伴う嗜好品の提供に努めていきたいと考えています。

主な年間行事実施状況（全体レク）

月 日	行 事 名	参 加 人 数	内 容
4.17	第34回 カラオケ交流会 (会場：静心寮) (司会：静心寮)	出場者 6名 見学者 23名 職 員 5名	静心寮の集会室に救護3施設の利用者が集まりました。各施設6名が出場し、自慢の歌を披露しました。最後は全員で合唱して閉会となり、久しぶりに仲間との再開を楽しむことができました。
5.22	遠足 ゆにガーデン	利用者 28名 職員 10名	四季を感じるために、由仁町にあるユニガーデンに遠足へ行きました。 おいしいお弁当をいただき、園内巡回バスへ乗り、花や秋の風を感じる事が出来ました。
6.19 20	一泊旅行 定山溪 ホテル・ミリオーネ	利用者 16名 職 員 8名	ホテルへ到着し、お部屋でゆっくりする人、お風呂に入る人、買物する人と個々に自由な時間を過ごしていました。夕食はお座敷で豪華なお膳を美味しく頂き、良い気分転換になりました。またカラオケで盛り上がり、良い思い出になりました。 最後はさとらんどで手作りバター体験をして、昼食を食べて福祉園に戻りました。
6.28	白石福祉園夏祭り	全 員	福祉園の駐車場にての夏祭りでしたが、あいにくの雨が降り施設内で行いました。地域の方々やボランティアの方々の協力もあり、無事終了しました。 アトラクションは風船の魔法使いの方が来て場を盛り上げてもらい、楽しいひと時を過ごせました。
7.23 24	一泊旅行 登別 グランドホテル	利用者 9名 職 員 5名	ホテルへ到着し、お部屋でゆっくりする人、お風呂に入る人、買物する人と個々に自由な時間を過ごしていました。夕食は大きな会場で豪華なバイキングを美味しく頂き、良い気分転換になりました。 最後はトヨタの工場見学とノーザンホースパークでの食事を楽しみました。
8.6 7	一泊旅行 洞爺 サンパレス	利用者 4名 職 員 2名	利用者さんの希望や意見を取り入れたマイプラン旅行を実施しました。 自分の行きたいところなどが盛り込まれた旅行に皆さん満足されていました。 バスではなく園ワゴンでの移動も良い思い出になり、最後は新千歳空港の見学で終わりました
8.14	合同盆踊り 合同花火大会	全 員	福祉園と静心寮の間にやぐらを立て、それを中心にみんなで盆踊りを踊り、仮装する方、踊りを楽しみました。 その後、静心寮と合同で花火大会を行い、夏の夜風に当たりながら変わりゆく季節を感じました。
9.10	第14回 パークゴルフ大会 さとらんど	利用者 10名 職 員 3名	4つの救護施設でさとらんどに集まり、パークゴルフの腕を競い合いました。惜しくも優勝は逃しましたが、来年こそはと言い合いながら帰りました。

9.12	敬老会	全 員	70歳以上の方のお祝いで、今年は1名の方が新たに仲間入りをし、58名の方がお祝いを受けました。園長からお祝いの言葉を貰い、記念品の贈呈があり、敬老者の代表者からお礼の言葉がありました。今年は職員有志の寸劇もあり、大変喜ばれていました。
9.17 18	一泊旅行 定山溪 定山溪ビューホテル	利用者 9名 職 員 6名	ホテルへ到着し、お部屋でゆっくりする人、お風呂に入る人、買物する人と個々に自由な時間を過ごしていました。夕食は大きな会場で豪華なバイキングを美味しく頂き、良い気分転換になりました。 最後は新さっぽろのサンピアザ水族館を見て、びっくりドンキーでの食事を楽しみました。
10.15	第40回合同演芸会 菊水元町地区センター (当番：福祉園)	利用者27名 職 員 9名	今年で40回目となる合同演芸会が行われました。 自由クラブの発表や他の施設の発表などを見て、久しぶりに会う仲間と共に楽しい時間を過ごしました。
11.6	第60回開設記念行事	全 員	60回目の記念として、JRホテルの方々を招き、食事会を行いました。その後は「草舞弦」の演劇をみて、利用者、ご家族、職員全員で、記念すべき日を祝いました。
12.10	もちつき	全 員	玄関ポーチにて園生の手でもちつきを行いました。交代でもちをつき、暮れの季節感を味わいました。
12.25	クリスマス会	全 員	例年通り、カラオケ大会、音楽クラブによる発表、職員による出し物の仮装大会、サンタさんによるプレゼント、聖火隊による行進、クリスマスの食事と年に一度のお祝いを楽しみました。
1.8	新年会	全 員	カラオケ大会や舞踊クラブの演舞で正月のお祝いをしながら、お互いに今年もよろしくという気持ちで一緒に歌を歌ったりして挨拶を交わしました。
1.23	合同カルタ大会 あけぼの荘	全 員	風邪引きが多いため中止となりましたが、福祉園内だけでカルタ大会を行いました。
2.3	節分	全 員	今年も集会室で年男の方が元気良く豆撒きを行いました。豆まき終了後には、鬼が出てきましたが、みなさんの力でボールを力いっぱい投げ、厄を追い払いました。
2.13	園内ゲーム大会	全 員	園内のゲーム大会では「人間スゴロク」「スリッパ玉入れ」「ゲームコーナー」の三つを行い、ゲーム終了後には、食堂で甘酒を味わいました。
3.6	日帰り外食A班 (シャトレーズ)	利用者25名 職 員10名	3月恒例の食事レクに行ってきました。今回はバイキング形式で、色々なものを楽しみながら食事されていました。
3.13	日帰り外食B班 (シャトレーズ)	利用者20名 職 員 7名	2回目の食事レクに行ってきました。今回はバイキング形式で、色々なものを楽しみながら食事されていました。
3.17	日帰り外食C班 (シャトレーズ)	利用者29名 職 員12名	今回は会食形式で、普段とは違う雰囲気の中緊張したのか、最初は静かに食事をされていたのですが、次第に雰囲気にも慣れ段々と会話が弾み良い気分転換になりました。

選択レク・希望レク実施状況

(選択レク)

月 日	行 事 名	参 加 人 員	内 容
4.14	ショッピング 厚別西友	利用者 8名 職 員 5名	ショッピングで厚別西友を選ばれた方で、自分の好きな物などを買ったり、昼食で好きな物を食べたりして、楽しむことができました。
4.15	外食 とんでん森林公園店前	利用者 7名 職 員 4名	外食で和食を選ばれた方で、自分でメニューから好きな物を選び、楽しむことができました。
5.12	洋食 ラパウザ	利用者 5名 職 員 2名	外食で洋食を選ばれた方で、自分でメニューから好きな物を選び、楽しむことができました。
5.15	ショッピング アリオ札幌	利用者 9名 職 員 5名	ショッピングでアリオ札幌を選ばれた方で、自分の好きな物などを買ったり、昼食で好きな物を食べたりして、楽しむことができました。
5.26	外食 中華	利用者 2名 職 員 2名	外食で中華を選ばれた方で、自分でメニューから好きな物を選び、楽しむことができました。
5.31	外食 和食	利用者 4名 職 員 3名	外食で和食を選ばれた方で、自分でメニューから好きな物を選び、楽しむことができました。
6.5	外食 和食	利用者 5名 職 員 2名	外食で和食を選ばれた方で、自分でメニューから好きな物を選び、楽しむことができました。
6.9	ショッピング 厚別西友	利用者 8名 職 員 4名	ショッピングで厚別西友を選ばれた方で、自分の好きな物などを買ったり、昼食で好きな物を食べたりして、楽しむことができました。
6.12	ショッピング 厚別西友	利用者 7名 職 員 4名	ショッピングで厚別西友を選ばれた方で、自分の好きな物などを買ったり、昼食で好きな物を食べたりして、楽しむことができました。
7.3	ショッピング ジャスコ東苗穂店	利用者 9名 職 員 4名	ショッピングでジャスコを選ばれた方で、自分の好きな物などを買ったり、昼食で好きな物を食べたりして、楽しむことができました。
7.7	ショッピング ジャスコ東苗穂店	利用者 10名 職 員 5名	ショッピングでジャスコを選ばれた方で、自分の好きな物などを買ったり、昼食で好きな物を食べたりして、楽しむことができました。
7.10	ショッピング 厚別西友	利用者 9名 職 員 4名	ショッピングで厚別西友を選ばれた方で、自分の好きな物などを買ったり、昼食で好きな物を食べたりして、楽しむことができました。
7.25	出前	利用者 8名	外出が難しい方を対象に施設内で出前を注文し、普段とは違う雰囲気の食事をとってもらいました。

(希望レク)

月 日	行 事 名	参 加 人 員	内 容
8.4	ラーメンレク 立花	利用者 3名 職 員 1名	ラーメンを希望された方で、自分でメニューから好きな物を選び楽しむことができました。
8.11	水族館レク サンピアザ水族館	利用者 2名 職 員 1名	水族館を希望された方で、魚などをみて楽しみ、近くで食事をして楽しむことができました。
8.18	焼肉レク 平和園	利用者 2名 職 員 1名	ラーメンを希望された方で、自分でメニューから好きな物を選び楽しむことができました。
9.4	ショッピング 東札幌ダイエー	利用者 6名 職 員 3名	ダイエーでの買い物を希望された方で、買い物と中での食事を楽しくできました。
9.8	動物園レク 円山動物園	利用者 2名 職 員 1名	動物園を希望された方で、動物をみて楽しみ、近くで食事をして楽しむことができました。
9.18	ショッピング 東札幌ダイエー	利用者 5名 職 員 3名	ダイエーでの買い物を希望された方で、買い物と中での食事を楽しくできました。
10.2	バイキングレク サッポロビール園ロイン亭	利用者 9名 職 員 5名	バイキングを希望された方で、自分でたくさんあるメニューの中から好きな物を選び楽しむことができました。
10.6	バイキングレク サッポロビール園ロイン亭	利用者 8名 職 員 5名	バイキングを希望された方で、自分でたくさんあるメニューの中から好きな物を選び楽しむことができました。
10.9	バイキングレク サッポロビール園ロイン亭	利用者 7名 職 員 4名	バイキングを希望された方で、自分でたくさんあるメニューの中から好きな物を選び楽しむことができました。
11.13	寿司レク すしてん	利用者 9名 職 員 5名	寿司を希望された方で、自分でメニューから好きな物を選び楽しむことができました。
11.17	寿司レク すしてん	利用者 9名 職 員 5名	寿司を希望された方で、自分でメニューから好きな物を選び楽しむことができました。
11.27	洋食レク ラパウザ	利用者 9名 職 員 5名	洋食を希望された方で、自分でメニューから好きな物を選び楽しむことができました。

〔別記3〕

ク ラ ブ の 実 施 状 況

クラブ	参加人員		実 施 経 過 と 効 果
	使用者	職 員	
習 字	15	3	<p>一年間を通していつもと同じメンバーの中、たまに習字クラブでない方にも声を掛ける参加されることもあったので、今後もこだわらず声掛けを行っていきます。</p> <p>正月の書き初めでは、今年、一年の抱負みたいなことを書いていただき、生活に生かしていただいています。</p>
舞 踊	3	3	<p>昨年度に引き続き「おとこの潮路」を練習し行ってきました。</p> <p>利用者個々のペースにあわせ、月一回で踊っていただきましたが、高齢化に伴い、今年度でクラブを見合わせる事となりました。</p>
手 芸	7	3	<p>個々のペースに合わせ、楽しみながら編み物や刺し子を行いました。</p> <p>クラブの時間が足りないという声がありましたので、来年度に向けて検討していきたいと思います。</p>
音 楽	7	4	<p>クリスマス演芸会の発表に向けて、「きよしこの夜」の練習や、デイルームなどで発声練習や、好きな歌などを歌っていただく場を設けました。新年度から、音楽療法が加わり、さらに音楽を通じて活動の幅を広げていきたいと思います。</p>
生 花	6	3	<p>花器に合った花を先生にそれぞれ選んで頂き、各自活けていき、先生にアドバイスを頂きながら完成させていきました。</p> <p>作品は、園長室、玄関、玄関ホール、食堂、集会室に飾り鑑賞した。</p>
自 由	20	4	<p>今年度は、自由に園生が楽しめるように、塗り絵をする人、ビーズをする人に別れ、また音楽などを流しながら雰囲気づくりを重要視して取り組みました。</p> <p>二ヶ月に一回音楽療法の講師を招いて、音楽を用いての日常の楽しみが持てるよう取り組みました。</p>
四つ葉の集い	2	2	<p>各施設の参加者の希望を聞きながら実施しました。車で公園などの公共施設や、施設屋外での活動と、他施設の情報交換や交流を通じて視力のハンデがある人の励みの場となるよう取り組みました。</p>

[別記4]

利用者の給食状況調

平成26年度
入園者 平均 名(緊急、検食、保存食含)

区分 月別	エネルギー	蛋白質		脂肪 エネルギー比(%)	1人1日当り 平均価格 (消費税含む) (円)
		蛋白質(g)	動物蛋白比(%)		
4	1,824	74.1	53.4	23.2	788
5	1,808	72.1	51.3	23.6	770
6	1,836	70.0	49	24.6	828
7	1,790	69.8	53	22.9	906
8	1,810	71.4	54.3	23.3	916
9	1,837	73.2	52	23.3	956
10	1,843	72.1	54.6	23.7	880
11	1,782	70.5	51.3	23.1	1,018
12	1,786	71.0	51.7	23.0	1,039
1	1,798	70.5	52.2	22.6	1,022
2	1,827	73.7	52.4	23.0	956
3	1,789	69.0	51.6	23.6	955
平均 (1ヶ月)	1,811	71.5	52.2	23.3	919.50
基準値	1,700	60.0	40~50	15~25	920

[別記5]

主 な 実 施 事 項

年 月	実 施 機 関	実 施 内 容	備 考
26.4	当 園	定期健診（利用者全員） 血圧・体重測定・身長	血圧高めにて毎日1人測定 毎月曜日1名（血圧）毎火曜日3名毎水曜日4名 毎金曜日4人（血圧） 体重増にて食事減る7名体重測定週1回（水）2名 低体重にて300g2名350g1名食事増やす
26.4	対 癌 協 会	胃・大腸癌検診 男子：39名 女子：31名	・便潜血（+）2名大腸検査施行する。問題なし
26.6	広 川 内 科 ク リ ニ ッ ク	腹部エコー検査 男子：41名 女子：46名	13名 腎のう胞→経過観察 8名 胆石→経過観察 1名 肝内石灰化→経過観察 1名 肝脂肪→経過観察 1名 水腎症→経過観察 1名 肝血管腫→経過観察 6名 肝のう胞→経過観察
26.6	白石中央病院	乳癌検診：32名	30名 異常なし
	対 癌 協 会		本年度は検査しませんでした。（2年に1回の為）
26.7	結 核 予 防 会	胸部X-P（間接撮影） 男子：34名 女子：39名	・4名 要精検施行（広川内科クリニック） 再検査の結果→4名異常なし ・JCHO札幌病院受診→1名問題なし。
27.2	広 川 内 科 ク リ ニ ッ ク	肺炎球菌ワクチン接種 男子：8名 女子：1名	今年度対象者（65歳70歳75歳80歳85歳）
26.10	当 園	定期健診（利用者全員） 血圧・体重測定	血圧測定（月曜日1名火曜日4名水曜日3名） 金曜日3名月2回2名（第2・4）血圧毎日2名 2名体重減にて食事療法（300g）低体重にて エンシュワ開始2名血圧の薬開始1名
26.11	当 園	インフルエンザ予防接種	・2名罹患者

利用者の状況（措置人員）

(H27. 3. 31 現在)

定員	現在員			
	男性	女性	計	充足率
100人	46人	48人	94人	98%

月別人員状況（平成 26 年度）

月別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
区分														
月初日人員		98	95	95	95	94	94	95	95	94	95	95	96	年間平均 95.0
入所						1		1	1			2		5
自己退所				1										1
居宅保護									1					1
長期入院による退所			2							1			1	4
他施設異動														0
死亡					1								2	3
一時保護	入所	1	1	2	2	0	2	2	2	3	1	2	2	20
	退所	2	1	1	2	1	1	3	1	2	1	1	2	18
月末現在員		97	95	95	94	94	95	95	95	95	94	97	94	年間平均 94.8

※は緊急入所からの正式入所

在所期間の状況

(H27. 3. 31 現在)

期間	性別								計 (人)	平均在所 期間
	1年 未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上			
男性	5	7	4	11	5	6	8	46	12年6ヵ月	
女性	1	1	0	9	3	2	32	48	30年2ヵ月	
計(人)	6	8	4	20	8	8	40	94	21年7ヵ月	
割合(%)	6.4	8.5	4.3	21.3	8.5	8.5	42.6	100	小数点第二位を 四捨五入	

利用者年齢状況

(H27. 3. 31 現在)

年 齢 性 別	30 歳 未 満	30 歳 以 上 40 歳 未 満	40 歳 以 上 50 歳 未 満	50 歳 以 上 60 歳 未 満	60 歳 以 上 65 歳 未 満	65 歳 以 上 70 歳 未 満	70 歳 以 上 75 歳 未 満	75 歳 以 上	計	最 高	最 低	平 均 年 齢
	男性	0	0	3	7	6	7	7	16	46	89 歳	42 歳
女性	0	0	0	2	2	6	8	30	48	94 歳	50 歳	77.0 歳
計	0	0	3	9	8	13	15	46	94	総平均 年 齢		72.2 歳
割合(%)	0	0	3.2	9.6	8.5	13.8	16.0	48.9	100			

障がい・男女程度別調査

(H27. 3. 31 現在)

障がい別	程 度	男 性 (人)	女 性 (人)	計 (人)
身 体 障 が い	重 度	1	1	2
	中 度	4	1	5
	軽 度	0	0	0
知 的 障 が い	重 度	4	13	17
	中 度	6	3	9
	軽 度	1	0	1
重 複 障 が い	重 度	2	12	14
	中 度	3	2	5
	軽 度	3	1	4
精 神 障 が い	重 度	2	3	5
	中 度	8	4	12
	軽 度	5	4	9
そ の 他	中 度	1	0	1
	軽 度	6	4	10
合 計 (人)		46	48	94

※ 従来の合併障がいという分類を（精神障がいの重複を含め）重複障がいとする。

（重度障がい 38 名、中度障がい 32 名、軽度障がい 24 名）

（身体障がい 7 名、知的障がい 25 名、重複障がい 23 名、精神障がい 26 名、その他 11 名）

障がい別調査

(H27. 3. 31 現在)

病 名 性 別	身 体 障 が い		知 的 障 が い	精 神 障 が い	重 複	そ の 他	計 (人)
	視 覚	肢 体 不 自 由					
男性	2	2	11	15	8	7	46
女性	1	1	16	11	15	4	48
計 (人)	3	3	27	26	23	11	94
割合(%)	3.2	5.3	28.7	27.7	24.5	11.7	100

障がい者手帳保持者の状況

(H27. 3. 31 現在)

身体障がい者手帳	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計 19名
	4	5	2	2	0	1	
療育手帳	A 9		B 12		B 0		計 21名
精神障がい者保健福祉手帳	1級	9	2級	14	3級	1	計 24名

年金の受給状況

(H27. 3. 31 現在)

種別	障がい基礎年金	老齢基礎年金	障がい厚生年金	老齢厚生年金	基礎厚生年金	企業年金	その他	計
人員	45	6	0	2	2	0	3	58

利用者の親族等の状況

(H27. 3. 31 現在)

1 配偶者あり	2 親あり	3 子供養子を含むあり	4 兄弟姉妹あり	5 1～4以外の親族あり	6 知人のみ	7 身寄りなし	8 不明	計 (人)
2	4	19	73	17	3	4	0	118

出身世帯との連携状況

(平成 26 年度)

項目	回数					計 (人)
	年 0 回	年 1 回	年 2 回 ～ 5 回	年 6 回 ～ 11 回	年 12 回 以 上	
出身世帯の面会状況	72	15	7	0	0	94
出身世帯への状況報告	79	10	3	0	2	94
出身世帯からの通信	57	26	8	1	2	94
外泊の状況	93	0	0	1	0	94

疾病別調査 (重複含む)

(H26.4.1~H27.3.31)

内 科	人数	精 神 科	人数	そ の 他	人数
高血圧+その他	27	統合失調症	11	皮膚科	49
糖尿病+その他	12	興奮性知的	4	眼科(白内障含む)	43
消化器疾患	47	てんかん	8	泌尿器科	14
心疾患	8	知的障がい	40	外科及び整形	23
高脂血症	24	認知症	13	耳鼻科	16
呼吸器疾患	19			脳外科	11
その他	21	その他	29	その他	32

入院状況 (医療機関の変更や重複者も含む)

(H26年度)

内科	外科	整形外科	精神科	脳外科	眼科	泌尿科	肛門科	耳鼻科	循環器科	呼吸器科	乳腺外科
14	3	1	4	3	2	2	0	1	1	2	0

日常生活調査 (ADL状況より)

(H27.3.31 現在)

区分	歩行			食事			入浴			着衣			排泄										
	自力歩行	杖等の歩行補助器使用	車椅子使用	歩行不能	自分で可能	一部介助	全面介助	自分で可能	一部介助	全面介助	自分で可能	一部介助	全面介助	昼間				夜間					
														トイレ				おむつ使用	トイレ			おむつ使用	
														自分で可能	一部介助	全介助	車椅子使用		自分で可能	一部介助	全介助		車椅子使用
実数(人)	62	16	16	(10)	82	10	2	50	23	21	80	9	5	83	4	7	(10)	29	83	4	7	(10)	29
割合(%)	66.0	17.0	17.0		87.2	10.6	2.1	53.2	24.5	22.3	85.1	9.6	5.3	88.3	4.3	7.4		30.9	88.3	4.3	7.4		30.9

実施機関別人員調（措置人員）

(H27. 3. 31 現在)

各市別人員				各支庁別人員			
実施機関名	男	女	計	実施機関名	男	女	計
札幌市	20	9	29	後志総合振興局	3	2	5
小樽市	1	3	4	空知総合振興局	1	1	2
旭川市	2	3	5	上川総合振興局	1	2	3
室蘭市	0	1	1	留萌振興局	0	1	1
釧路市	1	0	1	オホーツク総合振興局	0	2	2
北見市	0	2	2	胆振総合振興局	1	1	2
夕張市	1	1	2	日高振興局	0	2	2
岩見沢市	0	1	1	十勝総合振興局	1	3	4
紋別市	1	0	1	根室振興局	0	1	1
美唄市	1	1	2	石狩振興局	1	0	1
三笠市	2	3	5	釧路総合振興局	1	0	1
名寄市	3	6	9				
富良野市	0	2	2				
帯広市	0	0	0				
千歳市	2	0	2				
稚内市	1	0	1				
石狩市	0	1	1				
江別市	1	0	1				
滝川市	1	0	1				
				小計(人)	9	15	24
小計(人)	37	33	70	合計(人)	46	48	94